

## 藤沢市教育委員会定例会（9月）会議録

日 時 2009年9月4日（金）午前10時

場 所 東館2階教育委員会会議室

- 1 開 会
- 2 会議録署名委員の決定
- 3 前回会議録の確認
- 4 議 事
  - (1) 議案第18号 平成21年度（平成20年度対象）教育委員会の点検・評価について
  - (2) 議案第19号 藤沢市教育委員会事務局組織等規則の一部改正について
  - (3) 議案第20号 藤沢市社会教育委員の委嘱について
- 5 その他
  - (1) 第23回ビーチバレージャパンの結果について
  - (2) 第3回神奈川県中学生ビーチバレー大会の結果について
  - (3) 第2回関東中学生ビーチバレー大会の結果について
- 6 閉 会

出席委員

1 番 佐々木 柿 己  
2 番 鈴 木 紳一郎  
3 番 澁 谷 晴 子  
4 番 平 岡 法 子  
5 番 藤 崎 育 子

出席事務局職員

教育総務部長	田 中 一 次	生涯学習部長	青 柳 茂
教育総務部担当部長	村 岡 泰 孝	生涯学習部担当部長	須 藤 公 夫
教育総務部参事	茂 木 利 夫	生涯学習部参事	熊 谷 正 明
教育総務部参事	吉 田 早 苗	教育総務部参事	酒 井 一 二
教育総務部参事	佐 川 悟	生涯学習部参事	宮 澤 光 明
学務保健課長	吉 田 正 彦	教育指導課主幹	上 條 茂
スポーツ課主幹	橘 川 紀 之	総合市民図書館主幹	内 藤 彰
生涯学習課主幹	栗 原 かほる	文化推進課主幹	神 尾 哲
生涯学習課課長補佐	中 島 淳 一	生涯学習課課長補佐	斎 藤 隆 久
学校教育相談センター長	伊 藤 吉 正		
書 記	秋 山 曜	書 記	中 山 裕 子

午前 10 時 00 分 開会

澁谷委員長

ただいまから藤沢市教育委員会 9 月定例会を開会いたします。

÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷

澁谷委員長

それでは、会議録署名委員を決定いたします。本日の会議録に署名する委員は、4 番・平岡委員、5 番・藤崎委員にお願いしたいと思いますが、ご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

澁谷委員長

それでは、本日の会議録に署名する委員は、4 番・平岡委員、5 番・藤崎委員にお願いいたします。

÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷

澁谷委員長

次に、前回会議録の確認をいたします。

何かありますか。

特にないようですので、このとおりの承することにご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

澁谷委員長

それでは、このとおりの承することに決定いたします。

÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷

澁谷委員長

議事に入ります前に、議案第 18 号平成 21 年(平成 20 年度対象)教育委員会の点検・評価については、平成 21 年 9 月の藤沢市議会定例会への提出案件となっております。したがって、市議会定例会への提案前であり、その性質上、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 13 条第 6 項ただし書により、非公開としたいと思いますが、いかがでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

澁谷委員長

ご異議ありませんかので、議案第 18 号平成 21 年度(平成 20 年度対象)教育委員会の点検・評価については、後ほど非公開での審議といたします。

÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷

澁谷委員長

それでは、議事に入ります。

議案第 19 号藤沢市教育委員会事務局組織等規則の一部改正についてを上程いたします。事務局の説明を求めます。

村岡教育総務部担当部長

議案第 19 号藤沢市教育委員会事務局組織等規則の一部改正について、ご説明いたします。(議案書参照)

この議案を提案したのは、湘南台地区を除く 12 地区において、本年 10 月 1 日から地域経営会議を設置することに伴い、事前の準備事務として文書発送等を行うことから、藤沢公民館及び村岡公民館に所属する職員が、補助執行として地域経営会議に関する事務を行うことができるよう、所掌事務を改正する必要によるものです。

改正の内容ですが、新旧対照表の改正案をご覧ください。第6条中、15号を16号として第5号から第14号までを1号ずつ順次繰り下げます。そして第4号の次に第5号、地域経営会議に関する事務の補助執行（藤沢公民館及び村岡公民館に限る。）を新たに加えるものです。なお、附則として、円滑に業務を進めていくため、公布の日から施行するというものです。それでは、議案書を読み上げさせていただきます。（以下議案朗読）

澁谷委員長 事務局の説明が終わりました。議案第19号につきまして、ご意見・ご質問がありましたらお願いいたします。

鈴木委員 新旧対照表の書き方に関して、(1)から(4)は共通事項で、(5)から以下は藤沢公民館、村岡公民館に限るものだから、まとめて書くことはできないのですか。今の状況では藤沢公民館と村岡公民館は一緒ではないので、別に執行しなければならないわけですが、それを特例というか、限るといって、以下の幾つかという書き方はおかしいように思うので、お伺いします。

村岡教育総務部担当部長 条例・規則のつくり方かと思います。大きな規則改正、条例改正があった場合、全改正するということがあります。そういった場合には、まとめて項立てをするということがありますが、今回は一部改正ですので、施行期日も附則で違ってきますので、順次、このような形で項目に入れさせていただきました。

鈴木委員 継ぎ足しにどうしてもなっていくから、どんどん増えていくなと思って伺ったわけです。

澁谷委員長 ほかにありませんか。  
特にないようですので、原案どおり決定することにご異議ありませんか。  
（「異議なし」の声あり）

澁谷委員長 それでは、議案第19号藤沢市教育委員会事務局組織等規則の一部改正については、原案のとおり決定いたします。

÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷

澁谷委員長 次に、議案第20号藤沢市社会教育委員の委嘱についてを上程いたします。事務局の説明を求めます。

熊谷生涯学習部参事 議案第20号藤沢市社会教育委員の委嘱について、説明いたします。（議案書参照）

藤沢市社会教育委員の委嘱につきましては、藤沢市社会教育委員のうち学識経験者1名に欠員が生じたことから、社会教育法第15条第2項及び藤沢市社会教育委員に関する条例第3条の規定に基づき、その残任期間に係る委員の委嘱についてご審議をお願いするものです。新任の委員候補者については、公民館運営審議会委員の中から選出されました小林裕子氏で

ございます。任期は2009年9月5日から2010年6月30日まででございます。

澁谷委員長 それでは、議案書を読み上げさせていただきます。(以下議案書朗読)  
事務局の説明が終わりました。議案第20号についてご意見・ご質問がありましたらお願いいたします。

藤崎委員 この委員はどのような学識経験をお持ちなのか、差し支えない範囲で教えていただけたらと思います。

熊谷生涯学習部参事 学識経験の資格云々ということではなく、社会教育委員を委嘱しておりますさまざまな分野の中で、公民館運営審議会委員は13地区公民館すべてに設置されておりますが、その委員の中で代表の方を北部、中部、南部の3ブロックに分けて、それぞれ輪番制でご推薦いただいております。公民館運営審議会委員の中には婦人団体代表、あるいは地域の子どもの会の代表等その地域の関係団体の方が直接入っておられます。そういう経験を生かして、市の公民館事業のあり方等を専門的に社会教育施設の中での良好な運営に対してご意見をいただいている方も学識経験というくくりの中で選考させていただいているということで、特に資格がある方ということではないとご理解いただきたいと思います。

平岡委員 前任者が1年弱を残して退任された理由を伺えればと思います。

熊谷生涯学習部参事 公民館運営審議会委員の任期は2年で、それぞれの公民館で委嘱をしております。たまたま前任の公民館運営審議会委員の任期が社会教育委員の任期とダブらずに、1年のダブリの中でしか任期がなかったということで、公民館運営審議会委員を6月末で退任されて、その後任ということですので、社会教育委員としての残任期間がこの期間になってしまうということです。

平岡委員 そういう場合には続けてということは考えられないのですか。

熊谷生涯学習部参事 学校の先生とか、ほかの公民館運営審議会委員にその方がなるとか、選出区分の所属を継続されるということであれば、お諮りしてご了解を得ることは可能ですけれども、公民館運営審議会という1つの選出母体から選んでいただく中で、公民館運営審議会委員を退任されたということで、やはり委員としては公民館運営審議会委員の方にご就任いただけるようということですので、継続というのは難しいと思います。

藤崎委員 15人の委員のうち、団体推薦は何人ぐらいいらっしゃるのですか。

熊谷生涯学習部参事 学校教育関係者が小学校、中学校、高等学校から3名、社会教育関係者としてPTA、青少年団体、文化団体、スポーツ団体の各代表者4名をお願いしております。それから家庭教育の向上に資する活動を団体から子育て支援グループの関係者代表、そのほかに学識経験者は社会教育に

関する専門家、研究者で大学教授2名、芸術文化活動に関する専門家・研究者として大学講師1名、社会教育活動実践家としてボランティア団体から1名、地域活動実践家ということで市民活動推進センターから1名、その他社会教育委員の職務遂行に適切な見識を持つ人ということで、公募委員、そして公民館運営審議会委員代表の計15名で構成されております。

藤崎委員

団体からの推薦もよいですが、いろいろな意見が活発に出る社会教育委員を目指している地方自治体が多いので、さまざまな意見を活発に言える方、藤沢を良くする方を選んでいただきたいと思います。

澁谷委員長

教育委員としても、以前より、社会教育委員と教育委員との懇談会をと考えております。時間が取れずにそのままになっておりますが、時間を調整し意見交換をしたいと思っております。

ほかにありませんか。

ないようですので、原案どおり決定することにご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

澁谷委員長

それでは、議案第20号藤沢市社会教育委員の委嘱については、原案のとおり決定いたします。

÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷

澁谷委員長

次に、その他に移ります。

(1) 第23回ビーチバレージャパンの結果について、事務局の説明を求めます。

橘川スポーツ課主幹

(議案書参照)

今回の第23回ビーチバレージャパンについて、8月13日から16日までの4日間、鶴沼海岸サーフビレッジ前で開催されました。面コートについては昨年と同様に有料観覧席と仮設スタンド及びコートサイド席が設けられ、多くのビーチバレーファンが来場されました。また、従来、マーメイドカップとして開催しておりました女子の大会について、今回よりビーチバレージャパン女子の部として位置づけられ、トーナメント形式で開催されております。男子の部については、推薦8チーム、都道府県代表43チーム、開催地1チーム、合計52チームが参加いたしまして、結果については朝日・白鳥組が優勝、長谷川・青木組が準優勝、仲谷・井上組、山本・畑組がそれぞれ3位となりました。なお、朝日・白鳥組は大会4連覇ということでございます。

女子の部については、ランキング上位6チームと推薦2チームの計8チームが参加いたしまして、結果については西堀・浅尾組が優勝、浦田・楠原組が準優勝、鈴木・田中組、尾崎・草野組がそれぞれ3位となりました。優勝しました西堀・浅尾組は、国内大会で初優勝です。ビーチバレージャパンは国内最高峰の大会で、第1回から藤沢市を会場として開催しており

ます。今回も国内ビーチバレー発祥の地にふさわしい大会として継続してまいりたいと考えているところです。

澁谷委員長 事務局の説明が終わりました。ただいまの説明につきまして、ご意見・ご質問がありましたらお願いいたします。

平岡委員 去年は北京オリンピック前の大会ということで大変盛り上がりましたが、今年もまた盛り上がったと思うのですが、観客数はどのくらいだったのでしょうか。

宮澤生涯学習部参事 観客数については、おっしゃるとおり、去年はオリンピックということもあって人気があったのですが、今年は女子の人気チームがそろったということで、昨年と変わらず2万人ちょっと欠けたぐらいで、まだ正式な数字は主催者からは聞いておりませんが、大体変わらない数字ではないかと認識しております。

平岡委員 今年から女子も男子と同様にビーチバレージャパンとなりましたけれども、優勝賞金が大分違いました。同じスポンサーであって、なぜ違うのでしょうか。スポンサーの事情なのか思いなのか。

宮澤生涯学習部参事 賞金の関係ですが、女子は前のマーメイドカップという形でやっておりましたが、そのときも女子はサブイベントということでやってきて、今回、第1回で、男子の部、女子の部ということなのですが、スポンサーの関係も若干ありますけれども、正式な大会でなく、今回、試行的ということもありました。女子の大会については、今年、大阪で開催されております。来年度以降の中で、賞金については検討する、また、同額にする場合には男子の部を下げざるを得ないかなということも中には出ております。大会の位置づけは同一大会と言いながらも、地区予選チームに女子は出ておりません。ランキングの中で、特別推薦ということでインドアで人気のあった菅山かほる・小泉組が入ってきて、ランキングの6チームとやらせたということなので、今後の大会については男子と同じように、地区予選、主催者推薦、ランキングチームということで進めていくと聞いておりますので、賞金については、来年度以降変更はあろうかと思いますが、現状は、そういうことをご理解いただきたいと思います。

澁谷委員長 私は今年初めて、中学生の部も含めて見せていただいたのですが、ビーチバレージャパンは目の前で見ると、テレビで見るとはるかに面白いスポーツであると思いました。決勝が16日で同じ日に隣で中学生がやっていたので、どこかで接点があれば良かったと思います。主催者やスポンサーの関係もあるでしょうが、前夜祭に中学生を招待するとか、少しでもジャパンの試合を見せてあげたかったと思います。ジャパンの観覧席は有料ですので、中学生が自主的に見に行くのは難しかったようです。

以前、福原愛さん等の卓球チームが秩父宮体育館で合宿をしたときに、市民との交流がありました。あそこまで大々的に時間が取れなくても、どこかで中学生に実際の試合なり、実際の選手に触れさせてあげたかったと思いますがいかがでしょうか。

宮澤生涯学習部参事 来年度以降、全国大会を考えた中で、協会の方に関東と同じように同一開催ができないかということをお願いしております。今回、インドアの関係で秩父宮体育館ではサマーリーグが行われます。それをVリーグの方にもお話をしまして、市内の小学生の教室を開いてもらい、その指導は参加チームの有名選手にお願いするという事を考えております。それから観覧についても無料席を設けていただいくという話もしておりますので、同じような考え方の中で、開催日程にもよりますが、中学校の場合、インドアの大会も考慮しないといけないので、ビーチバレージャパンとの日程を含めて調整しながら、そういう機会が取ればやっていきたいと思っておりますので、協会には申し入れをしたいと思っております。

澁谷委員長 ほかにありませんか。

ないようですので、了承することといたします。

XX

澁谷委員長 次に、(2)第3回神奈川県中学生ビーチバレー大会の結果について、事務局の説明を求めます。

橘川スポーツ課主幹 (議案書参照) 第3回神奈川県中学生ビーチバレー大会は、8月16日にビーチバレージャパンと同じ会場の鵜沼海岸サーフビレッジで開催されました。男子の部は市内14チーム、市外9チームの合計23チームが参加いたしました。結果については、藤沢クラブAが優勝、羽鳥ピンクーズが準優勝、藤沢クラブB、羽鳥小僧がそれぞれ3位となりました。男子の部については、市内のチームが1位から3位まで独占いたしました。女子の部は、市内10チーム、市外29チームの合計39チームが参加し、結果については座間市の座間東が優勝、伊勢原市の向日葵が準優勝、鵜沼中学校Bと茅ヶ崎市立松中学校がそれぞれ3位となりました。女子の部の市内チームは鵜沼中学校Bチームが第3位ということでございました。また、座間東については第1回大会から3連覇しております。参加された選手たちは、普段と違う環境に初めは苦戦しておりましたが、ゲームが進む中で徐々に慣れて、ビーチバレーを楽しむ様子が伺えました。2年前の第1回大会と比較すると、各チームとも格段にレベルが向上しており、決勝トーナメントでは各チームともラリーが続く中、ライン際をねらったサーブやスパイクを決めるなど、好プレーが数多く見られるようになりました。また、当日は8月では2番目の暑さで32度を記録する中、



南消防署の協力をいただきまして、熱せられた砂浜に放水をして冷ますなど、他課との連携を図りながら、事業を円滑に進めることができました。

なお、大会での大きなけが、熱中症になった生徒はなかったと聞いておりますので、あわせてご報告いたします。

澁谷委員長 事務局の説明が終わりました。ただいまの説明につきましてご意見・ご質問がありましたらお願いいたします。

佐々木委員 私も会場で見えて、子どもたちが一生懸命やっていると思いました。その中で中学生のビーチバレー大会がやっているということが、外を通った人にわかるような表示があるといいと思ったので、テントの上の方に書くとか、組み合わせ表が配られているけれども、掲示板でどのコートでやっているといった工夫があると、外から見た人が分かりやすいのではないかと感じました。

宮澤生涯学習部参事 今のようなご意見はほかでも聞いておりますので、来年度に向けて横断幕的にテントの後ろに大会名の表示等を設けるような形で協会と進めていきたいと思っております。

平岡委員 今のご意見と関連しますが、今どこのチームがやっているのかをゼッケンで表示するとか、大会要綱にはチーム名と都道府県名だけなので、学校名も書いてあればいいと思いました。

宮澤生涯学習部参事 ルール上の問題もあるのですが、ビーチバレーの場合、インドアと違って1セットごとにコートチェンジがなくて、両方の得点の倍数でコートが変わるのですが、検討はさせていただきますけれども、中学生の場合、中学生1人で点数つけをやっていて、混乱のないようにということで、卓球用の得点板を使っております。コートが変わったときに裏返しすれば、数字がそのまま移行するというのでやっておりますので、その上にチーム名をつけるのは難しい。インドアの場合は、すぐ上についていますけれども、その辺の工夫は検討させていただければと思います。

それから学校名ということでしたが、中学校単位で絞るのではなくて、中学生というとらえ方をしております。そういう中で面白い名前もありましたが、中学をまたがってつくってもそのチームの参加を認めていこうという基本的な考え方がありますので、現在、臨時的に使っているチームもありまして、ユニフォームまでつくる負担はかけられないかなということもありますのと、ビーチバレーではユニフォームの規定がございます。番号は腕に書いてもいいことになっておりますので、今後、中学生の参加を求めていく中では、一中学校にこだわらない形で進めていきたいと思っておりますので、これがもっと普及してきて、クラブ的になってくれば、そのチーム名のユニフォームもできてくるかと思っておりますが、現段階ではそういう

状況ですので、ご理解いただきたいと思います。

鈴木委員 いろいろお金がかかると思うけれども、中学生大会に協賛とかスポンサー集めというのはやっていいのでしょうか。いいとしたらどの程度やっているのですか。

宮澤生涯学習部参事 大会運営は実行委員会形式でありまして、県の小学生は藤沢市バレーボール協会が直接やっております。県中学生、関東中学生大会については、市が実行委員会に負担金という形でやっておりますので、協賛等広告を集めているのは実行委員会がスポンサーを集めて実施をしております。市が直接スポンサーを取っているということではなく、ほかの県外の高校生の大会でも同じような形式を取っております。

鈴木委員 直接ではないということですが、スポンサー集めは大変だと思うけれども、展示等にお金もかかるので、財源を確保する施策をした方がいいのではないのでしょうか。それからTシャツは当日売っているのですか。

宮澤生涯学習部参事 Tシャツはスタッフ用として主催者がつくっておりますので、グッズ販売の中には入っておりません。

鈴木委員 来年はぜひ、記念にグッズ販売に入れていただきたいです。

宮澤生涯学習部参事 今まで、関東中学生大会では抽選をして中学生にお配りしております。また、ビーチバレージャパンでもスポンサーからいただいた水とか、余ったものについては、関東のときに中学生全員に届くような抽選をして配っておりますが、ご意見は実行委員会にお話をしていきたいと思います。

鈴木委員 16日と30日の中学生の大会での救護班には観客も行ったのですか、選手だけだったのですか。

宮澤生涯学習部参事 ビーチバレージャパンとぶつかっている中学生大会については、ジャパン協会の方で医師を用意されておりましたので、ビレッジの救護室を利用させていただきながら、本部に連絡をいただければ観客も含めて診るということで、関東大会の30日については看護師で対応して、その後、救急隊に連絡するという考え方で進めております。

鈴木委員 マスターカードの方はしっかりとやっているけれども、中学生が熱中症等で倒れなかったということが大切で、今後も、発展していく上でしっかりやっていただきたいと思います。

藤崎委員 8月30日の中学生大会を見て、普通のスポーツは歯を食いしばってやる中で、ビーチバレーというのは子どもたちが楽しそうに、笑顔でやっているという印象を受けました。藤沢が発祥の地ということで、人が見ても楽しいスポーツ、プロを目指すような、オリンピックの種目にもなっていますけれども、本当にこれに力を入れていくとすれば、スポンサーもそうですし、海外の韓国、アジアの中学生と対戦するとか、小さい子どもたち

にボールを持たせる子どもビーチバレー教室とか、お金をかけない範囲でできる、その日はビーチバレー一色になるような工夫をしていただけたらいいのではないかと思います。

宮澤生涯学習部参事 現在、サーフビレッジと話をして、コートは常時開設しております、フリーでお見えになってもすぐできるように、ボールの貸し出し等しております。小さいお子さんについては、藤沢市協会にお願いしながら、小学生の大会も開催しております。それから一流の選手が練習しているので、ちょっとしたコーチ等はお願ひすれば、見てもらえる状況にあります。海外の話については、スポーツ課としては来年の全国大会に向けて一生懸命で、海外には目は向いておりませんが、今後の課題とさせていただきます。

澁谷委員長 ほかにありませんか。

ないようですので、了承することといたします。

×××

澁谷委員長 次に、(3)第2回関東中学生ビーチバレー大会の結果について、事務局の説明をお願いします。

橘川スポーツ課主幹 (議案書参照) 第2回関東中学生ビーチバレー大会は、8月30日(日)、同じく鶴沼海岸サーフビレッジ前で開催されました。参加チームは男子21チーム、女子23チームで行われました。市内チームは男子が8チーム、女子が6チームです。大会については群馬、栃木を除く関東校の1都5県の出場がありまして、あいにくの空模様の中でしたが、予定どおり無事に競技が実施されました。結果については、男子の部の優勝は、埼玉県富士見市のイエローモンキー、準優勝は藤沢クラブA、3位が羽鳥ピンキーズと埼玉県の春日部中央。女子の部の優勝は、伊勢原市の向日葵、準優勝は座間市の座間東、3位は六会中と茨城県境町の境第二中となりました。神奈川県大会と比較しますと、関東大会ということもあり、県大会以上の好ゲームが繰り広げられました。気温も低いこともありまして、選手にとってはプレーしやすかったのではないかと思います。来年度は財団法人地域活性化センターが行っているスポーツ拠点づくり推進事業を活用して、中学生ビーチバレー全国大会の開催を予定しており、申請書等の必要書類を8月27日に県に提出いたしました。後日、県から同センターへ送付されまして、本年12月上旬にはスポーツ拠点づくり推進委員会の審査を経て、年内には結果が出る段取りになっております。来年の夏はビーチバレー日本一を目指す中学生が全国各地から集まるビーチバレー全国大会が、発祥の地である藤沢市で開催されますよう準備を進めてまいりたいと考えております。

澁谷委員長 事務局の説明が終わりました。改めてビーチバレー大会全体についてご意見・ご質問がありましたらお願いいたします。

鈴木委員 関東大会は藤沢市が中心になって1都7県に呼びかけて第2回が開催されたということですが、ほかのところでは、全国大会をやるに当たって関東以外は既に行われているのですか。

宮澤生涯学習部参事 高校生については全国大会を阪南市でやっております。中学生については、ほかではまだ設けられておりません。藤沢が県内からスタートして関東、全国というのは最初の発想になっております。主催は恐らく日本バレーボール協会、あるいは日本ビーチバレー連盟の形を取って、実行委員会ということで藤沢市が中心的に動くのかなと考えております。

鈴木委員 大変すばらしいので、ぜひ実現できるように教育委員としても努力したいと思います。

澁谷委員長 ほかにありませんか。  
ないようですので、了承することといたします。

÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷

澁谷委員長 以上で、本日、予定しておりました公開により審議する案件は、すべて終了いたしました。

それでは、次回の定例会の期日を決めたいと思います。10月2日（金）午後2時から、場所は東館2階教育委員会会議室において開催ということでいかがでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

澁谷委員長 それでは、次回の定例会は10月2日（金）午後2時から、場所は東館2階教育委員会会議室において開催いたします。

以上で、本日の公開による審議の日程はすべて終了いたしました。

午前10時45分 休憩

この会議の経過を記載し、相違ないことを確認する。

藤沢市教育委員会委員長

藤沢市教育委員会委員

藤沢市教育委員会委員